

環境掲示板

●植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 2月7日(日) 13:00~14:30

3月7日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

●野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 2月13日(土) 9:00~12:00

3月13日(土) 9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

●Tシャツからエコ布ぞうり作り

主催 ごみ対策課

日時 2月18日(木) 13:00~15:45

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 8名(多数の場合は抽選)

料金 無料

編集後記

今月号は、野川、仙川などの「川特集」になった。水は、生き物にとって、代替物がない、大変貴重なものである。そのためか、水のある風景は、豊かで、安らぎを与えてくれる。羽沢小学校4年生が総合的学習で作った「わたしたちの野川」の歌のように、「野川よありがとう」の気持ちで、野川の自然を守っていきたいものである。(安達)

申込 往復はがきで2月12日(金)
必着でごみ対策課へ

問合せ ごみ対策課 内線 2535

●ひな人形作り

主催 ごみ対策課

日時 2月24日(水)、25日(木)

27日(土)、28日(日)

10:00~16:00

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 5名(先着順)

料金 無料

申込 2月10日からの開館日に直接ま

たは電話でごみ対策課へ

問合せ ごみ対策課 内線 2535

●第56回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ「冬鳥探鳥会」

日時 2月27日(土) 9:00~11:00

事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

発行：みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば 第21号

2010年2月1日発行

冬は野鳥観察の季節

～ 野川公園周辺の野鳥を追う ～

まとまった緑と水は、野鳥が住むには大切な環境のようだ。オオタカも住む三鷹市西部の国分寺崖線の緑と野川の水は、野鳥たちにも自然の恵みを与えてくれている。

冬に日本で見られる主な野鳥には、秋に北の国から渡ってくるもの(冬鳥)、一年中いるもの(留鳥)などがある。冬に木の葉が落ちると野鳥を探しやすくなる。冬鳥たちや、山からおりてきた留鳥たちが、私たちの目を楽しませてくれる。オナガガモ、ジョウビタキ、シメ、ツグミ、カシラダカなどが遠い北の国からやってくる。イカル、ルリビタキなどが山からおりてくる。ツミは少数が越冬する。

調布飛行場に隣接する武蔵野の森公園の池にも、いろいろな野鳥がやってくる。ヒドリガモが多く住みついているし、バンやカイツブリもいる。一年前の冬には、オオハクチョウも来た。

野川公園では、冬に、ボランティアによる野鳥観察会が、毎月1回行われていて(4頁参照)、だれでも参加できる。

野川では、相変わらず、多量の餌(パンなど)をカモ類に与えている人を見かけるが、過剰な給餌は問題だと感じている。写真提供の3氏に感謝します。(安達)



ジョウビタキ (12月香川淳さん撮影)



ルリビタキ (12月藤倉洋介さん撮影)



ツミ (1月武田秀己さん撮影)

野川の流量の年間変化をさぐる

野川は、湧水を集めて流れ、いろいろな生き物が生息している、自然豊かな清流である。長期的には、都市化で雨水が地下に浸透する量が少なくなってきたり、湧水量が減少しているが、野川には、いつも多くの水が流れてほしいものである。

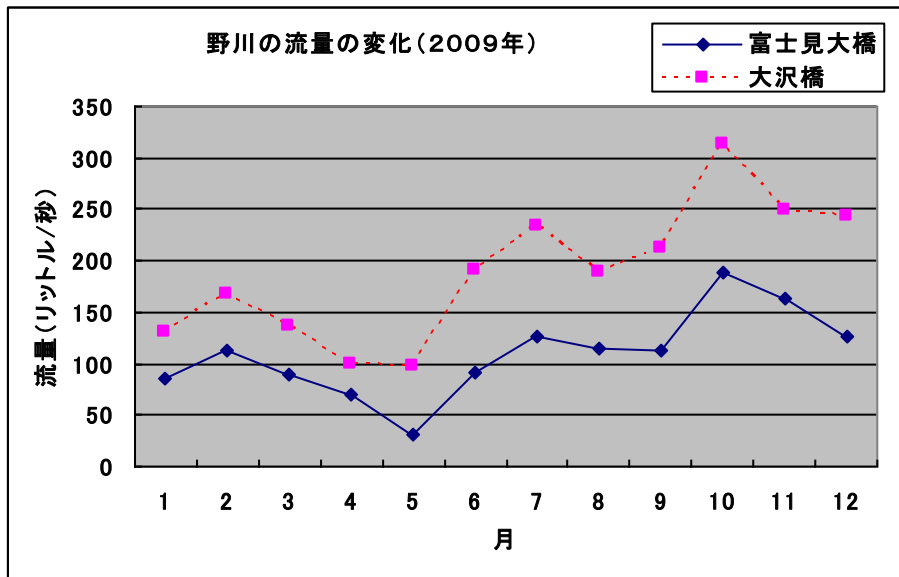
市民でもできる簡易な方法で、昨年(2009年)一年間、一人で毎月、野川の流量の測定を試みた。場所は、野川の富士見大橋と大沢橋である。

測定方法は、川幅と水深を測り、ウキを3メートルほど流して流速を測り、計算して流量を求める方法である。

その結果を下図に示す。これからわかることは、①野川の流量及びその季節的

変動である。5月ごろ流量がすくなく、10月ごろが多かった。②富士見大橋から大沢橋の間で野川の流量が増えている。その量は毎秒50リットルから100リットル程度であるようだ。これは、湧水が野川に注ぎこんでいるためと考えられるのもっともらしい。はっきりさせるためには、湧水量を直接測ることが必要であり、次の課題である。

野川公園の湧き水広場付近、泉橋付近、飛橋付近では、かなりの量の湧水が野川に注いでいる。国際基督教大学、国立天文台などの緑が保全されていることが、この湧水量に寄与していると考えられる。これらの緑を大切に保全していきたいものである。(安達)



第3回 みたか環境懇談会

「国分寺崖線の湧水と野川」

講師 水みち研究会代表

日時 平成22年3月6日(土)
午後1時半~4時

神谷博さん

場所 三鷹ネットワーク大学
主催 みたか環境活動推進会議
NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構

(株) 設計計画水系デザイン研究室代表取締役。法政大学兼任講師、法政大学エコ地域デザイン研究所兼任研究員、日本建築学会雨水建築規格化小委員会主席。市民活動として、水みち研究会代表、東京都野川流域連絡会座長など。

申込・問合せ 三鷹市 環境対策課
電話 0422-45-1151 内線 2523,2524
E-mail : kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

申込みはメール又は電話で、名前と電話番号を連絡
定員 50名(事前申込 先着順) 無料

当日席に余裕があれば、申込なしでも参加可能

今回は、テーマに、大切な「湧水」と「野川」をとりあげます。野川は、自然に恵まれた、湧水の川です。長年、野川の保全活動にかかわってこられた神谷博さんを講師にお願いしました。多数の方々の参加をお願いします。詳細は、広報みたか又は市のHPをご覧ください。

三鷹のみち：仙川

仙川遊歩道は、新川6丁目の人見街道・野川宿橋から仙川の両側に沿ってつづくみちです。野川宿橋の橋下に約1.6km。下流の樋口取水場で汲み上げた湧水が放流され、幅広い川底の草のあいだのところどころにはカモが群れ、シラサギも見かけます。



東八道路を渡り、両岸に広がる樹林が豊かな仙川公園を通過して左岸の丸池の里へ。ここには勝淵神社の並びに丸池公園が広がり、そこには冬の日だまりのなかに親子連れをふくむ大勢の人がいて子供たちの元気な声が響いていました。さらに左岸を下ると、小高い丘の天神橋青少

年広場の雑木林を経て中央自動車道をくぐると、調布市域に入ります。一方右岸はまだ三鷹市域で、環境センターと東部下水処理場の裏手の桜並木がつづきます。仙川遊歩道はさらに下流へ調布市と世田谷区域につづく格好のウォーキングコースです。(山口)